

渇水対策本部を設置

～ 名取川水系、鳴瀬川水系のほか 5 水系で渇水調整を実施中 ～
大切な一滴 限りある水 みんなで一層の節水を！

東北地方は、梅雨期から平年よりも降雨が少なく気温が高い状況にあり、河川の水が少ない状態が続いています。

東北地方整備局管内の 7 水系（名取川、鳴瀬川、北上川、米代川、雄物川、子吉川、最上川）※では、各河川事務所に渇水対策支部を設置し、状況を注視してきたところ
です。

今般、一部の水系において、早期に河川の流況の改善が見込まれず、ダム貯水池の水位が著しく低下し、ダムから下流河川への補給に支障が生ずるおそれがある状況に至ったことから、適切な渇水対策を円滑に実施するため、東北地方整備局に渇水対策本部（注意）体制を設置します。

※令和 7 年 7 月 25 日現在

1. 東北地方の気温と降水量、河川流況について（別紙 1 参照）※出典：気象庁 HP より

- 東北地方の 6～7 月にかけての気温は平年よりも高い場所が多く、7 月の降水量（7 月 24 日現在）は 5 ヶ年平均降水量の 10%にも達していない地点が 3 箇所ある状況となっています。
- 河川流況は、一部の基準地点で基準流量を下回っている地点が出てきています。

2. 東北地方整備局における渇水対応の体制について（別紙 2 参照）

- 6～7 月の少雨の影響を受け、早いところから 7 月上旬から河川事務所において渇水対策支部を設置し、河川流況を注視してきたところ
です。
- 河川流況の早期回復が見込まれないことから、今般、適切な渇水対策を円滑に実施するため、東北地方整備局に渇水対策本部を設置する
ものです。

3. 東北地方整備局が管理するダムの貯水率について（別紙 3 参照）

- 18 ダム中、13 ダムにおいて平年と比べ低い貯水率となっています。

4. 東北地方整備局が管理する河川・ダムの状況について（別紙 4 参照）

- ダムからの補給を続けているものの、河川流量の減少等により、取水や河川環境への影響が出始めている河川
があります。

<発表記者会> 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[問い合わせ先]

国土交通省 東北地方整備局 河川部

河川環境課 課長 ^{かたの}片野 ^{まさあき}正章（内線 3 6 5 1）

課長補佐 ^{いしむら}石村 ^{やすし}靖（内線 3 6 5 6）

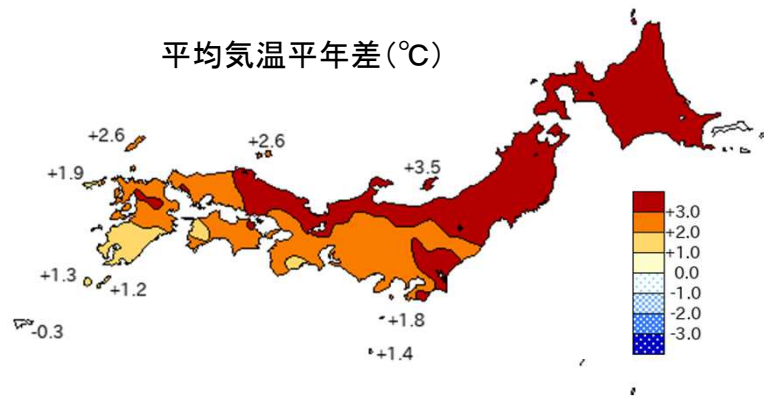
仙台市青葉区本町 3 - 3 - 1 仙台合同庁舎 B 棟

TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754

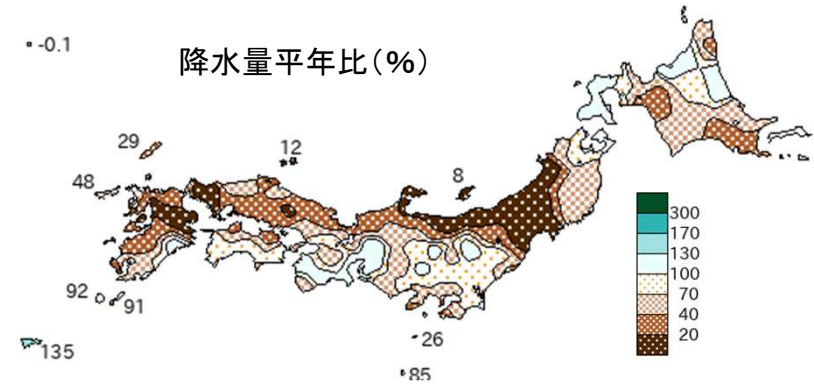
【別紙1】東北地方の気温と降水量、河川流況について

- 東北地方の6～7月にかけての気温は平年よりも高く、7月の降水量(7月24日現在)は県庁所在地6箇所のうち、5ヶ年平均降水量の10%にも達していない地点が3箇所ある状況となっています。
- 河川流況は、一部の基準地点で基準流量を下回る地点が出てきています。

■ 気温(6/26～7/23) 出典: 気象庁HP

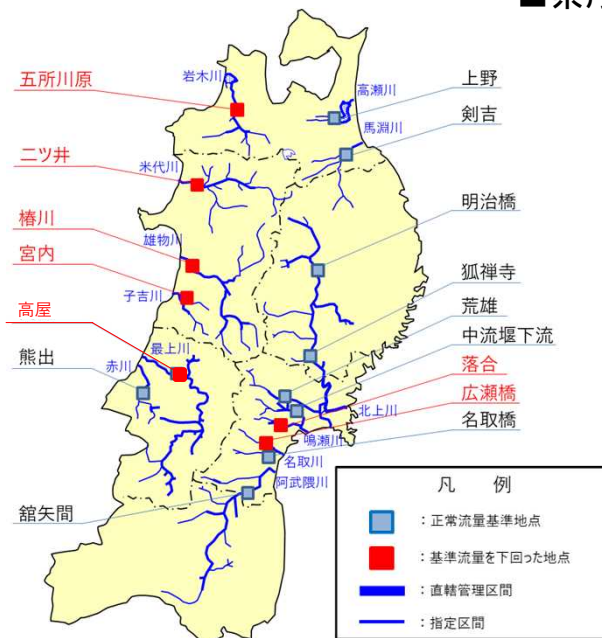


■ 降水量(6/26～7/23) 出典: 気象庁HP



■ 河川流況 着色凡例: (基準流量以下)

水系名	渇水対策		流量
	基準地点	基準流量 (渇水の目安となる流量) (m ³ /s)	7月25日 9時流量 (m ³ /s)
阿武隈川	館矢間	40.00	52.40
名取川	名取橋	1.50	2.02
	広瀬橋	1.00	0.42
鳴瀬川	中流堰下流	2.00	2.98
	落合	1.50	0.70
北上川	明治橋	20.00	29.24
	狐禅寺	70.00	87.20
	荒雄	2.51	3.21
馬淵川	剣吉	16.00	17.91
高瀬川	上野	2.00	9.80
岩木川	五所川原	19.00	18.71
米代川	二ツ井	45.00	35.19
雄物川	椿川	80.00	69.52
子吉川	宮内	11.00	4.61
最上川	高屋	60.00	54.70
赤川	熊出	3.00	3.77



■ 県庁所在地の6～7月の降水量

※県庁所在地降水量データは、気象庁HPより。
※当年降水量7月は、7月24日までの評価。

県庁所在地	5カ年平均降水量 <R2～R6>		R7降水量	
	6月 (mm)	7月 (mm)	6月 (mm) (平均比)	7月 (mm) (平均比)
青森市	80.2	137.8	122.5 153%	43.0 31%
盛岡市	115.1	288.0	75.0 65%	40.0 14%
仙台市	109.4	245.5	62.5 57%	18.5 8%
秋田市	117.5	274.6	91.5 78%	13.5 5%
山形市	78.9	238.4	64.0 81%	8.0 3%
福島市	123.9	170.3	73.5 59%	26.0 15%

- かんがい期がはじまり、**管内の18ダムのうち17ダムで「かんがい用水」を補給中**です。
- 当該日現在の**貯水率(利水容量)**は、**高温と少雨等の影響から13ダムで平年と比べ低くなっています**。

＜直轄管理ダム位置図＞

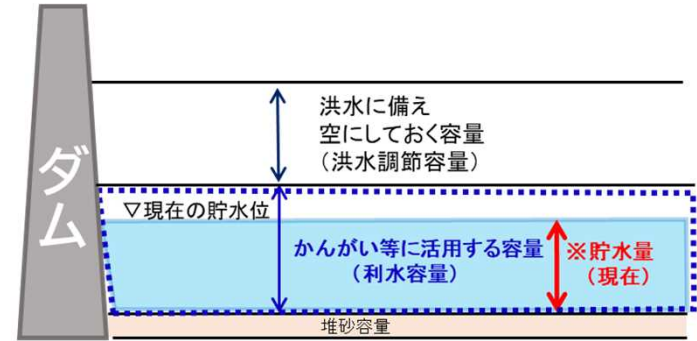


＜直轄管理ダムの貯水率＞ 赤字：平年より貯水率が低いダム

NO.	ダム名	貯水率 (%)		位置
		R7.7.25 時点	平年値 ※2 7.25時点	
①	浅瀬石川	95	79	青森県黒石市
②	津軽	40	72	青森県中津軽郡西目屋村
③	御所	41	91	岩手県盛岡市
④	田瀬	72	96	岩手県花巻市
⑤	湯田	54	84	岩手県和賀郡西和賀町
⑥	胆沢	48	88	岩手県奥州市
⑦	鳴子	14	93	宮城県大崎市
⑧	釜房	97	96	宮城県柴田郡川崎町
⑨	七ヶ宿	75	80	宮城県刈田郡七ヶ宿町
⑩	玉川	69	91	秋田県仙北市
⑪	森吉山	85	98	秋田県北秋田市
⑫	寒河江	85	98	山形県西村山郡西川町
⑬	白川	94	93	山形県西置賜郡飯豊町
⑭	長井	72	99	山形県長井市
⑮	月山	84	94	山形県鶴岡市
⑯	三春	100	97	福島県田村郡三春町
⑰	摺上川	97	89	福島県福島市
⑱	四十四田※1	52	66	岩手県盛岡市

※1 四十四田ダムはかんがい用水補給なし。
 ※2 平年値は直近5ヶ年平均(R2～R6)
 ※3 18ダム全てで洪水期となっています。
 非洪水期と洪水期で貯水池運用が変わり利水容量が少なくなります。
 これに伴い、洪水期となったダムの貯水率の計算は分母となる利水容量を変更し計算しています。

＜貯水率とは＞

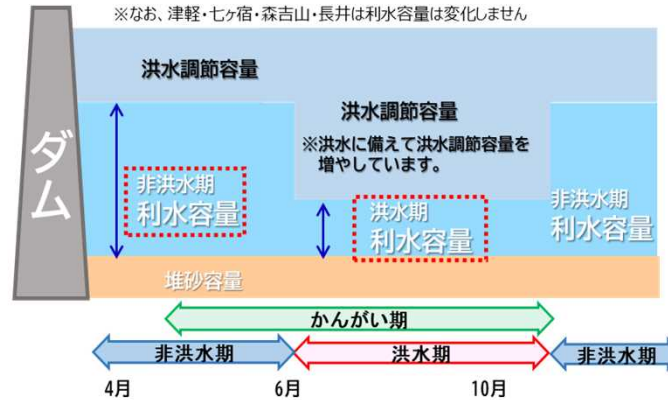


※貯水率とは
 $貯水率(\%) = \frac{貯水量(現在)}{利水容量}$
 貯水率100(%)で満杯

＜期間に応じて利水容量が変わる＞

非洪水期と洪水期で利水容量が変化します。

※なお、津軽・七ヶ宿・森吉山・長井は利水容量は変化しません



【別紙4】東北地方整備局が管理する河川・ダム の状況について

主な流量減少河川・貯留量減少ダムの状況

水系名	河川/ダム名	現在の状況
名取川	広瀬川	・著しい取水障害の報告はないが、河川流量の減少による魚類等の生息への悪影響が懸念されます。
鳴瀬川	鳴瀬川	・河川流量の減少により、大崎市内の農業用揚水樋管において取水が困難となっています。 ・河川流量の減少による魚類等の生息への悪影響が懸念されます。
北上川	北上川 (宮城県側)	・登米市内で農業用水が不足傾向となり、一部地域において番水を実施又は検討しています。 ・河川流量の減少により、揚水機場や揚水樋管で取水が困難となっています。
北上川	鳴子ダム (江合川)	・6月の総降水量は平年の36%程度であり、7月のダム流入量は過去10年間で最少となっています。 ・土地改良区においては、自主節水(約70%)の実施や番水制の実施を検討しています。 ・岩堂沢ダム(県)との連携により放流を継続しています。
米代川	米代川	・一部の揚水機場で河川水位の低下により、必要水量の取水が困難となり、仮設ポンプを設置し取水口まで水をひいて取水しています。 ・森吉山ダム(国)では、米代川の流水の正常な機能の維持のため放流を継続しています。
雄物川	雄物川	・横手市内など雄物川上流域で農業用水が不足しており、頭首工において自主節水(約20~50%)や、分水調整を実施しているほか、一部地域において番水制を実施しています。 ・玉川ダム(国)では、雄物川下流の流水の正常な機能の維持のため放流を継続しています。
子吉川	子吉川	・子吉川下流の一部の農業用揚水機場で塩水遡上により河川からの取水を停止しています。 ・河川流量の減少による魚類等の生息への悪影響が懸念されます。
最上川	鮭川	・取水障害の報告はないが、河川流量の減少による魚類等の生育・生息への悪影響が懸念されます。



鳴瀬川水系鳴瀬川(R7.7.24撮影)



米代川水系米代川(R7.7.24撮影)



最上川水系鮭川(R7.7.16撮影)



鳴子ダム貯水池(R7.7.24撮影)